



としょだより

平成 28 年 11 月 9 日

いわみなみしょうがっこうとしょかん
岩美南小学校図書館

ブックワールド集会

しゅうかい



【作文発表】



【図書委員会の本の紹介】



【読み聞かせ】



【ブックメイトさん
ありがとうございました】



十月の読書ゆうびん、
まだの人は待っていますよ！



あたらしい本の紹介



ブックワールド集会で図書委員会が紹介した本です。今週より貸し出しを始めており、どの本も人気です。

- | | |
|----------------------------|--------|
| ・「すがたをかえる食べもの」①～⑦ | 学研プラス |
| ・「マンガ百人一首物語」①～⑧ | 学研プラス |
| ・「絵本ごよみ 二十四節気と七十二候」春・夏・秋・冬 | 教育画劇 |
| ・「トムとジェリーのグリムおはなし迷路」 | 河出書房新社 |
| ・「ちびまる子ちゃん えさがしブック」 | 金の星社 |
| ・「赤川次郎セレクション」①～⑩ | ポプラ社 |



子ども読書フォーラム2016 in いわみ

～家庭読書の取り組み発表～

さる11月6日、中央公民館で「子ども読書フォーラム2016 in いわみ」が開催され、本校の6年U・Sさんとお母さんが家庭読書の取り組みを発表されました。ここにその時のSさんの作文を紹介します。

「ページをめくれば、もう友達」

六年 U・S

ぼくは、毎日、本を読んでいます。話を聞くときに、真けんに聞けばよく分かるように、本も真けんに読めば、意味が分かりにくい文章も、分かります。分からないと言わないで読むことが、大切だと思います。

また、色々な分野の本を読むことで、心が豊かになると言われています。

ぼくは、伝記の中で「円谷英二」が心に残っています。円谷さんは、ひょうなことから「活動屋」（今でいう映画を作る仕事）についた人です。ふつうの映画ではなく、特しゅさつえいという手法でとる映画でした。「ゴジラ」や「ウルトラマン」の案を出したのも円谷さんで、ピアノ線を写さないようにするなど、映画がもっともっとよくなるようにと、映画に愛情をそそいだ人だと言えます。

このように、円谷さんは、他の人とは違う考え方をされていて、その答えに行き着くまで、色々な手法で、何回も試していました。映画のさつえいは、どのようにするのか、手法は、やり方は、など、色々な映画や本を見て、研究をしました。火薬の量を間違えたり、さつえいが失敗したりしても、あきらめなくて、どうすればよいのか見通しながら取り組みました。本当に努力家だなあ、と思いました。この円谷さんから教わったことは、努力をすれば、きっと答えが見つかるということです。～（中略）～



読書は、友達と似ているところがあると、ぼくは思います。本は、身近にある存在です。友達も学校に行けば身近な存在で、そこにいてもいなくても、自分と仲良しであれば、友達です。そういう点で本も同じで、友達です。

だから、ぼくは、本を読むときに、ページを雑にめくらないで、ていねいに読むようにしています。そして、内容にどんなことが書かれているのか、題の意味は何かなどを気を付けて読んでいます。そうすると、登場人物の気持ちや表情に合わせて、自分の気持ちや表情も変わってきます。

これからも、今までと同じように、その本の題名の意味や本の内容を考えながら読んで、もっともっと本と仲良くしていきたいです。